

輝く九州経産局長賞

「油で揚げないポテチ」のテラフーズ(国東市)

低カロリーで健康的

油で揚げないポテトチップスを製造する国東市武蔵町の食品メーカー「テラフーズ」(渡辺勲会長、10人)が2019年度の「ものづくり日本大賞」(経済産業省主催)で、九州経済産業局長賞(製品・技術開発部門)を受賞した。局長賞には同社を含む14団体が選ばれた。県内では同社のみ。



テラフーズが販売する油で揚げないポテトチップス「焼きじゃが」

テラフーズは油で揚げない独自の「ノンフライ製法」で、低カロリーのポテトチップスを開発。一般的なスナック菓子と違い、高温の油を使わずに調理する。そのため、ジャガイモを油で揚げると生成する「トランス脂肪酸」「アクリルアミド」といった健康に悪影響を与える物質を含まない。一般的なポテトチップスは30g当たり約250kcal。同社の主力商品「焼きじゃが」は約140kcalに抑えた。チップス内に細かい気泡を作り、パリパリ食感に仕上げた。

町内系原に構える工場です。1日最大約310kgを生



首都圏のコンビニ、スーパーを中心に販売している

産。味は、うすしお味、ゆずこしょう味など6種類。首都圏のコンビニ、スーパーを中心に販売している。県内ではトキハインダストリーあけのアクロスタウン(大分市明野東)やマルミヤストア戸次店(同市中戸次)で手に入る。

6日、渡辺会長らが市役所で、三河明史市長に報告した。渡辺会長は「受賞はうれしい。地元への恩返しになる。今後は工場の増設を考えている」と話した。

(広瀬悠一)